

東西南北*

電気系技術、学生競う

五所川原市の青森職業能力開発短期大学校（東北能開大青森校）は1月29日、同校で電気系部門の技術競技会を行った。参加した学生は、これまで習得した技術を使い課題に挑んだ。

競技会はものづくり教育の成果発表の場として行っているもので、同校と宮城県の東北能開大から学生計6人が参加。第二種電気工事士技能試験問題等を参考に作成された二つの課題に挑んだ。



終了後は、学生たちが互いの課題を批評し合った＝写真。宮城県の本校から参加した電気エネルギー制御科1年の首藤新さんは「いつもとは違った雰囲気の中で課題に取り組むことができた」と話した。（三浦博史）

※この画像は、当該ホームページに限って東奥日報社が利用を許可したものです。